

第 2 回安曇野市消防委員会 会議概要

- 1 審議会名 安曇野市消防委員会
- 2 日 時 平成 23 年 11 月 10 日 午後 6 時 30 分から午後 8 時 00 分まで
- 3 会 場 堀金総合支所 2 階 西会議室
- 4 出席者 丸山重隆委員長、笠井郁男委員、中野博夫委員、横内好幸委員、宮澤一雄委員
小林光男委員、島山忠幸委員、丸山 胖委員、鈴木清富委員
片桐久夫委員 小出博一郎委員
- 5 市側出席者 危機管理室長、消防防災担当係長、古旗企画員、西牧主査
- 6 公開・非公開の別 公 開
- 7 傍聴人 0 人 記者 0 人
- 8 会議概要作成年月日 平成 23 年 11 月 22 日

協 議 事 項 等

- 1 会議の概要
- 1 開 会
 - 2 委員長あいさつ
 - 3 会議事項
 - (1) 消防団出動範囲の見直しについて
 - (2) 消防団詰所の耐震診断結果について
 - (3) その他
 - 4 閉会
- 2 会議概要
- (1) 消防団詰所の耐震診断結果について
- 丸山委員長：消防団詰所の耐震診断結果について事務局からお願いします。
係員から診断結果について資料より説明
- 丸山委員長：何かご質問ありますか。
- 小林委員：ほとんど（倒壊する可能性がある）が駄目ですね。1つの詰所で建替え費用が3千万位との事ですが、区の負担はないということですね。
- 小出委員：地区で土地の問題、建物の問題でお金が何処から出ているか差があるようです。まだ土地を借りているところもある。消防団としては（補修等）やって頂ければありがたい。
- 小林委員：理論上は進めなければいけない問題です。土地の問題もあるし統廃合は必要ですね。部で幾つではなく、分団単位でどうかを考えないといけない。
- 横内委員：統廃合と一緒に検討していかなければいけない。
- 小林委員：まず城を作っておいて、そこに各団員を配置してというように。
- 室 長：同じ場所に建替えであればスペースがないので同規模の物しか出来ません。来年度から事業を開始していかないと数が多いので頭の痛いところです。総務部長とも話をしたが、統廃合が見えてこないのであれば、建替えを一年に1件、補強も金額によって一年に1～2件位で長い目でどうかということです。
- 宮澤委員：建替えも一年に1件となれば統廃合の検討も同時に進められると思う。区の皆さんの意見を聞きながら進めていく。
- 室 長：穂高の9分団はほぼ三角形で距離が近い。9分団3部はほとんど建替えなので仮に建替えるところが統廃合の起点となると思います。
- 係 長：事務局としては、資料の穂高の1箇所と三郷ですが、1階平屋で車庫がコンクリートで将来的にはやらなければいけないが、最後にまわせる部分だと思います。それと6分団1部は見た目にも頑丈ですしクラッチが入っているのでいずれ補強になるが、優先順位からいけば後ろでいいと思います。ブロック造の2階建てと11分団4部は完全に建替えと思います。

※会議概要は、原則として公開します。会議終了後、2週間以内に企画財政部まちづくり推進課へ提出してください。

※会議を非公開又は一部非公開とした場合は、その理由を記載してください。

中野委員 : 統合しても機具置き場として残せば合理的のような気がする。

小出委員 : 先日松本消防協会で千葉へ研修にいったが統廃合の事も団には話をしないで地元が理解して住民から統廃合をするようにもって行ったようだ。住民も団員が少ないのは分かっているが方法論がわからないので、自主防の話、統廃合の話が別から出ればいいと思う。

丸山委員長 : 自主防災があるのでその中から声があがるといい。

畠山委員 : これからは旧町村を取り払って安曇野市の1つとして考えていかないと、昔ながらの事を言っても進まないと思う。

笠井委員 : でも地域は地域の物を守っていかなければいけないと思う。

小林委員 : 運営費もそうだが今は区からでているが統一していかなければいけない。何処の区と区が一緒になって分団を結成していくか、それが一番地域的にはまとまってくると思う。

室 長 : 線と面で割り振るしか統廃合は出来ないのではないかな。

畠山委員 : 近くで火事があるのに、地域が違うからと関係ないではなく、それをどう取りまとめていくかが大事ではないかな。

小出委員 : 消防団の中で統廃合については、近いからとかの統廃合ではなく、人員が確保できず、活動が出来ないので統廃合をという話が出てきている。そういう意味では詰所の建て替えと合わせての話はしやすいかも知れない。

小林委員 : 最終的には団員の確保ですね。確保できなければ合併しなさいが、一番説得力があると思う。

宮澤委員 : 危機管理室で統合の話を進めていいとなれば、7分団の話は進められますか。

室 長 : ただ統廃合するのではなく、その先の話をしないと始まらないと思います。

宮澤委員 : 消防委員と区長さんと話し合いをもっていないので気持ちがわからない。(明科の)地域の事もあるのでまず、ブロック内で編制しないとわからないと思う。

丸山委員長 : 委員の皆さん。統廃合ありきという話でもっていいんですね。堀金、三郷さんはこれで良いですね。後は穂高、豊科、明科さんはブロック別に考えてもらうと言う事でどうですか。

小出委員 : 何か基準を作れば良いんですが。

室 長 : 松本市も合併して分団数が大きくなっているが何か話は聞きませんか。

丸山委員長 : 分団の看板はついているが、物置になっているところもあるようだ。

室 長 : 危機管理室としても統廃合は必要だと思うが、東日本大震災とか見ると消防団の必要性を感じる。

丸山委員長 : 詰所は減っても団員の数は絶対的に確保しなければならない。

室 長 : 耐震の方ですが、予算の事もありますので、補強できる物から手を掛けてよろしいですか。建替えの物は後として、補強から入るのも一つの案だと思います。

係 長 : できれば工事の優先順位を決めたいと思います。統廃合も視野に入れながらお願いしたいと思います。

丸山委員長 : では1番目は明科の8分団1部は決定であると危機管理室でお願いします。あと区長さんとの話し合いの結果は次の消防委員会でご報告できますか。

宮澤委員 : 簡単ではないので無理だと思います。慎重にやらなければいけないので。詰所が複数の区にまたがっている場合は、自分の区から詰所を無くすのは駄目だと言う意見が出る場合も考えなければいけない。

室 長 : 区に対して市の考えを周知してもらいたい。結論は出ないと思いますので。

丸山委員長 : 統廃合の課題は合併の時から話があったことですから、区の代表区長会などで話して頂いてもいいと思います。

片桐委員 : 松本広域の構想として人口は減になる、税収も減って消防費も減ってくる。職員を減らさず消防力を維持するかを考えています。最終的には個人的な意見として署の統廃合をしていかないといけないと思っています。職員を減らさず、ひとつの署に多くの職員を詰めることによって消防力を維持していく事を考えています。今回の安曇野市の消防団の詰所の関係を含めて消防力の維持を考えると統廃合は避けて通れないと思う。また研究させていただきますのでお願いします。

(2) その他

係 員 : 安曇野市消防団の日程説明

12/25 年末警戒の巡視の説明

1/8 消防団出初式

(丸山胖消防委員より、火災件数について質問)

建物・その他火災・・・1/8～9/27まで40件 そのうち建物火災・・・18件

3 閉 会